

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2010年第50号(週報)

2010年第50週(12月13日~12月19日)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

ー 感染性胃腸炎 : 2010/11シーズンの現在までの動向についてー

1, 2010/11シーズンの感染性胃腸炎の流行について (2010/12/22現在)

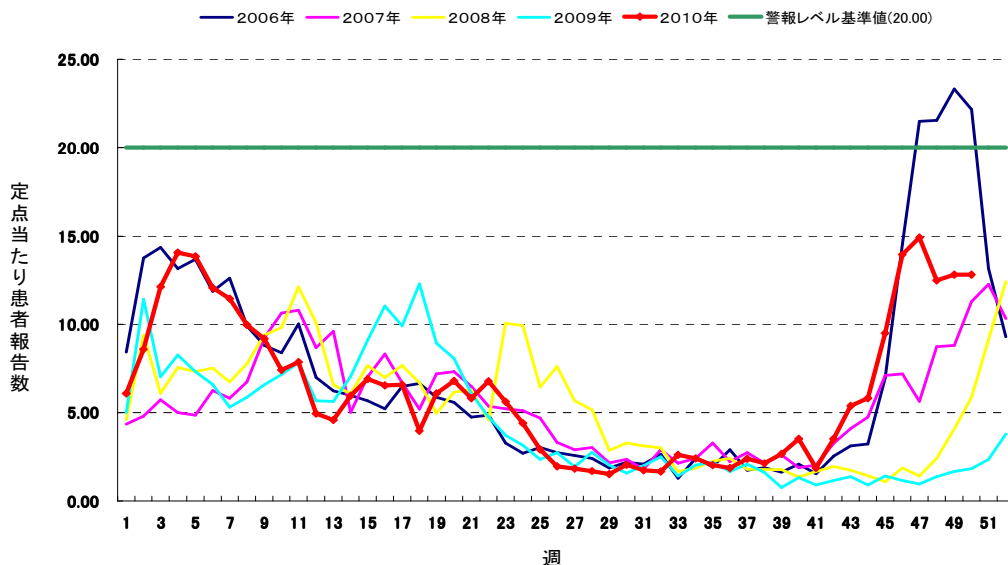
今シーズンの患者報告数(県全体)は、第41週(10/11~10/17)以降増加し始め、第47週(11/22~11/28)に定点当たり患者報告数が14.90人と最も多くなった後、若干減少しており、直近の第50週(12/13~12/19)では報告数が12.81人と、第47週以降、ほぼ横ばいの状況で推移しています。

地域別の流行状況では、県北部の岩出保健所管内で第39週以降、県内で最も早い患者報告数の増加が確認された後、和歌山市、岩出、海南保健所管内で報告数の多い状況が続いています。中でも、第46週に海南保健所管内で31.50人、第47週に和歌山市保健所管内で26.44人(共に定点当たり患者報告数)と警報レベル基準値を超える流行が確認されました。

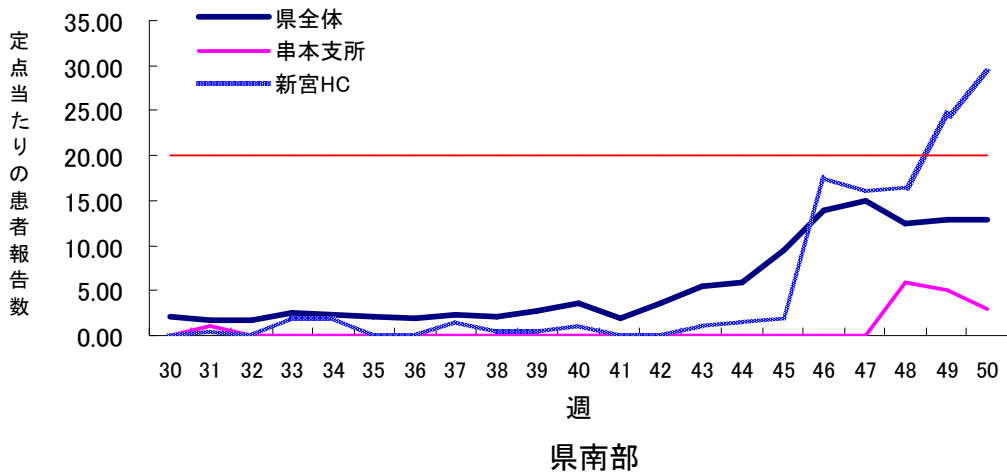
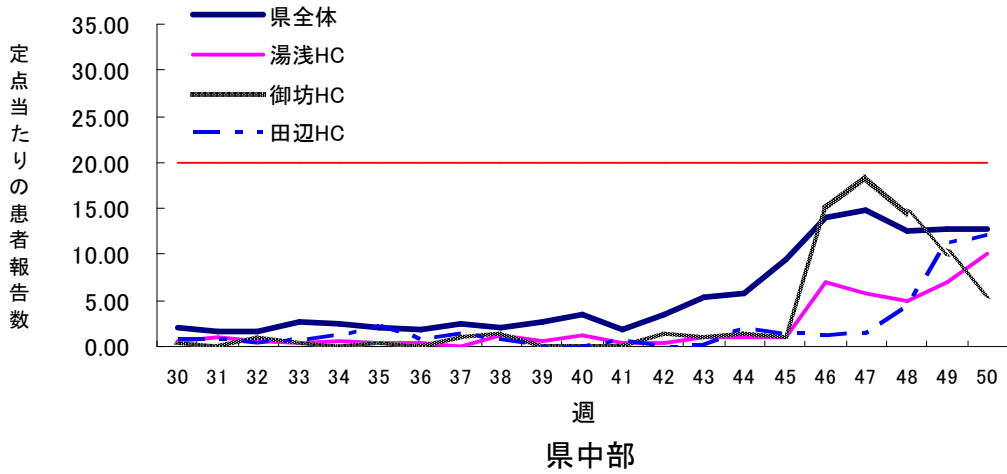
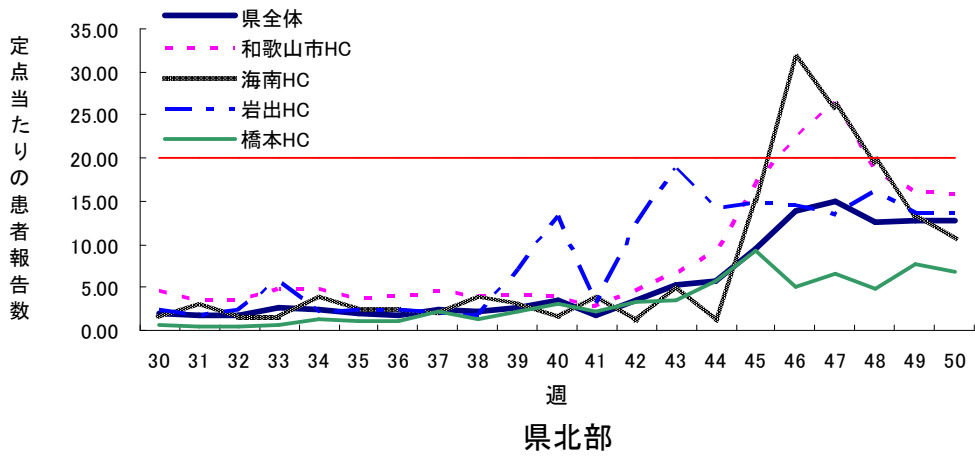
県中部では、第46週以降、定点当たり患者報告数が増加し始め、現在、田辺保健所管内が12.25人と最も多くなっています。

県南部でも、新宮保健所管内で第46週以降、患者報告数が急増しており、第49週に定点当たり患者報告数が24.50人と警報レベル基準値を超え、続く第50週では29.00人と県内で最も定点当たりの患者報告数が多くなっています。

今シーズンの感染性胃腸炎の流行は県北部から県中南部へ広がっていると考えられ、中南部の未だ患者報告数の少ない地域では、今後、患者報告数が増加していく可能性があるため、手洗いを中心とした予防対策の徹底が必要です。



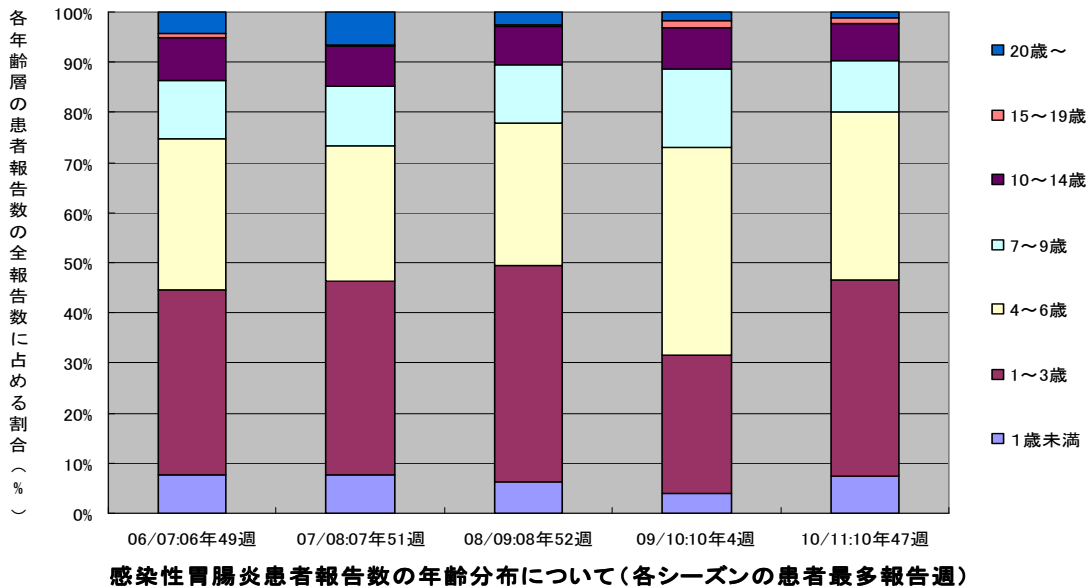
感染性胃腸炎患者報告数の推移(和歌山県)



保健所別の感染性胃腸炎患者報告数の推移について

2, 感染性胃腸炎患者の年齢分布について (2010/12/22現在)

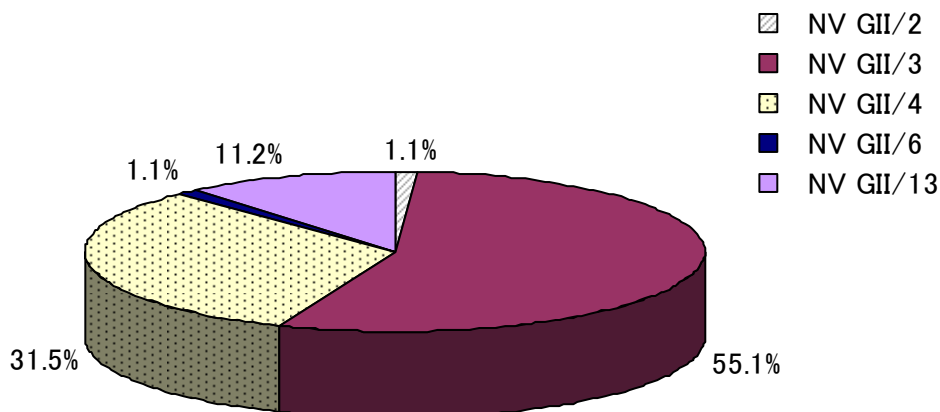
今シーズンの感染性胃腸炎患者の年齢分布をみると、2006/2007シーズン以降では、6歳以下の乳幼児の割合が約80%と最も多くなっています。また、今シーズンの集団嘔吐下痢症15事例は、現在のところ、すべて保育所及び幼稚園等の低年齢層施設で発生しています。



3, 集団嘔吐下痢症の原因病原体について (2010/12/21現在)

今シーズン発生した集団嘔吐下痢症15事例について、病原体検索を実施した結果、すべてノロウイルスG II (NVG II) が検出されました。これらの内、13事例21株のNVG II について遺伝子解析を行った結果は、すべてG II /3型でした。

NVG II /3型は、2006/07シーズン以降、全国で継続して検出されていますが、今シーズン (集計期間: 第36~48週) は、NVG II の中で約55% (NVG II 89株中G II /3型49株) を占めており、現在、最も多く検出されている遺伝子型です。



NVG II の遺伝子型検出状況について(2010年第36~48週)

－ **インフルエンザ**： 県全体の報告数は少ないが、一部保健所で流行入り！！ －

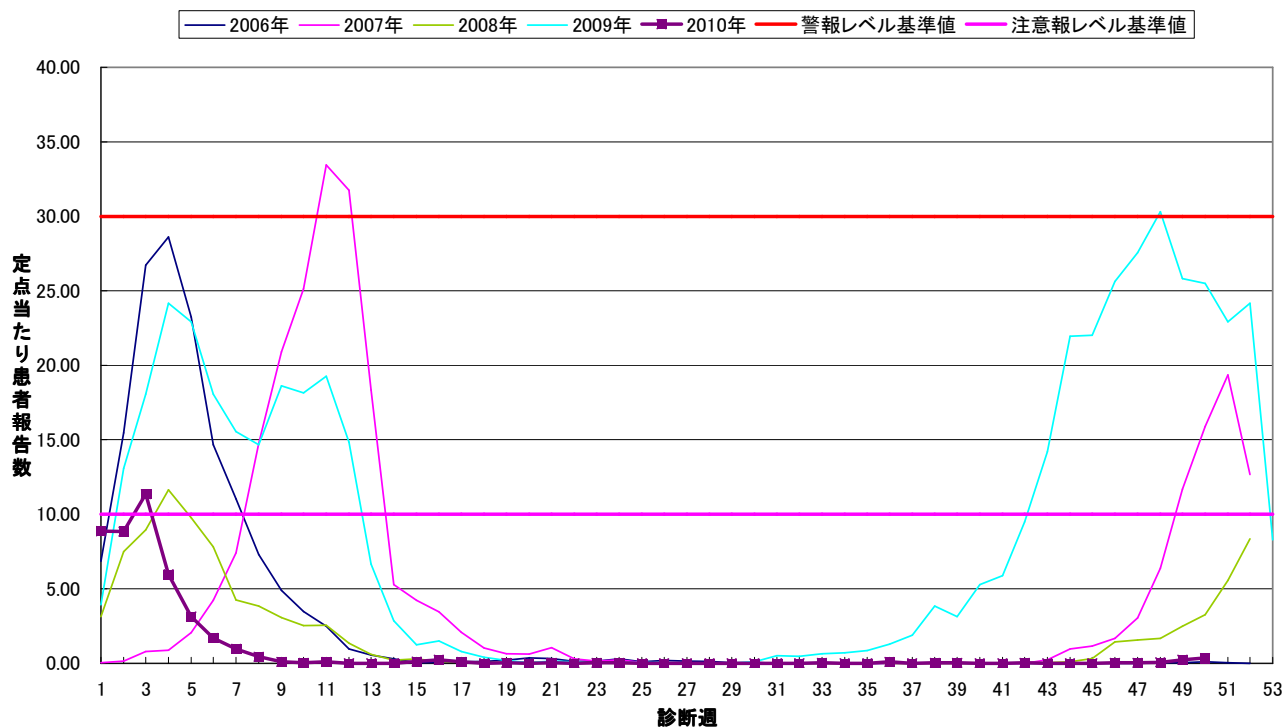
県全体の定点当たり患者報告数は、0.36人（前週：0.22人）と増加しました。

保健所別では、岩出、橋本保健所管内の患者報告数は、それぞれ1.50人（前週：0.83人）、1.00人（前週報告なし）と、流行入りの目安となる定点当たり患者報告数1.00人を超えました。

また、国立感染症研究所感染症情報センターの発表によると、全国の第50週の定点当たり患者報告数は、1.41人（前週：0.93人）と9週連続で増加しています。

なお、インフルエンザの警報・注意報レベル基準値は警報が30.0人（終息基準値：10.0人）、注意報が10.0人です。（共に定点当たり患者報告数）

インフルエンザ(和歌山県全体)



－ **流行性耳下腺炎** ： **県全体の患者報告数は例年に比べ多い！！** －

県全体の定点当たり患者報告数は、2.13人（前週：2.10人）とほぼ横ばいの状況で推移しています。

保健所別では、海南、湯浅、御坊保健所管内の患者報告数は、それぞれ4.50人（前週：2.50人）、4.00人（前週：2.67人）、3.50人（前週：4.50人）と、注意報レベル基準値を超えています。なお、前週注意報レベル基準値を超えていた田辺保健所管内の患者報告数は減少し、注意報レベル基準値を下回りました。

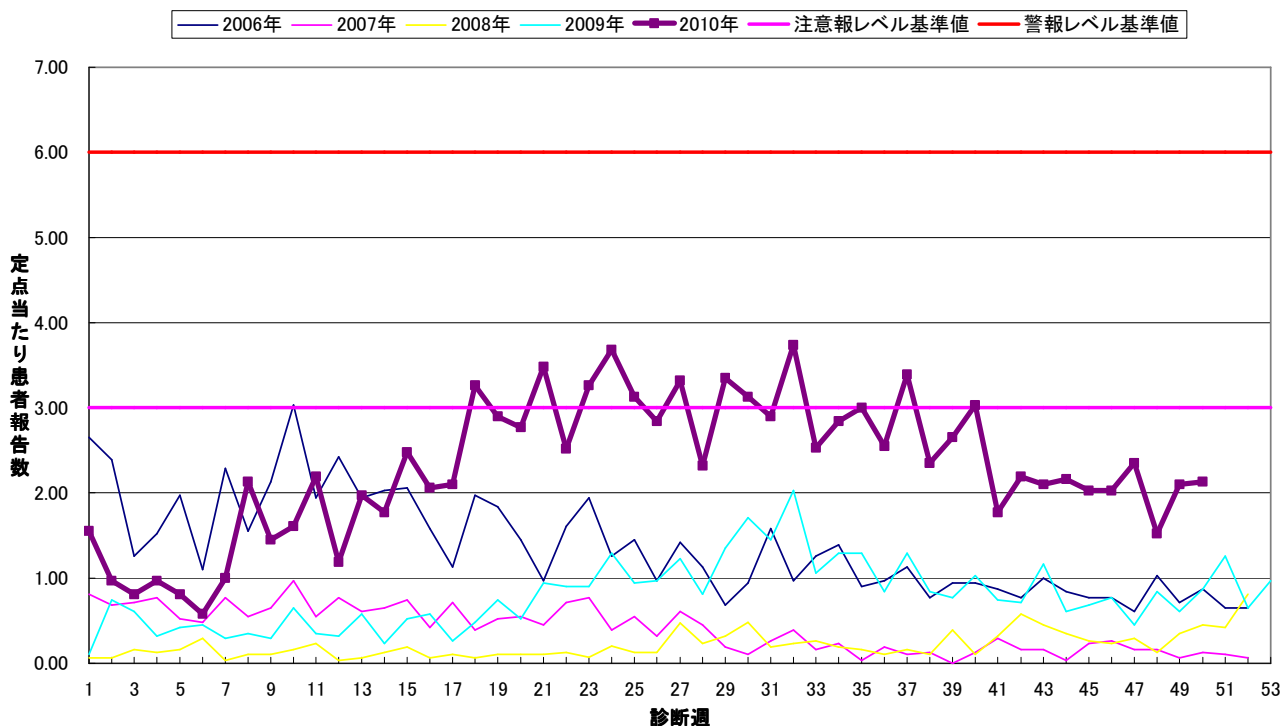
国が発行している感染症週報第48号（11月29日～12月5日）では、全国の定点当たり患者報告数は1.23人で、過去5年間の同時期と比較してやや多い状況です。

なお、流行性耳下腺炎の警報・注意報レベル基準値は警報が6.0人（終息基準値：2.0人）、注意報が3.0人です。（共に定点当たり患者報告数）

流行性耳下腺炎（ムンプス、おたふくかぜ）の詳しい説明はこちら

http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_35.html

流行性耳下腺炎(和歌山県全体)



－ **RSウイルス感染症** ： **県全体の患者報告数は例年に比べ若干多い！！** －

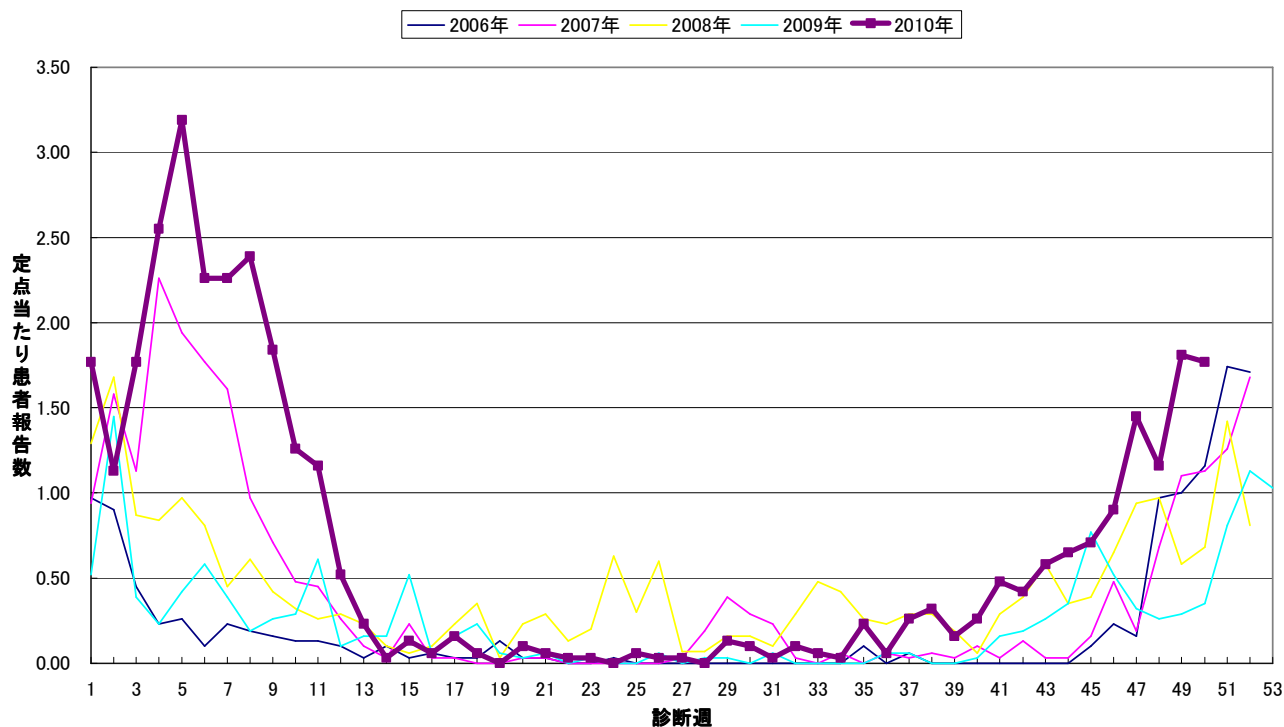
県全体で定点医療機関からのRSウイルス感染症患者報告数は55名（前週：56名）とほぼ横ばいの状況で推移していますが、例年は年末から年始にかけて流行のピークを迎える傾向にあるため、今後も動向に注意が必要です。保健所別では、岩出、御坊保健所管内で定点当たり患者報告数が多い状況です。

なお、RSウイルス感染症に警報・注意報レベル基準値は設定されていません。

RSウイルス感染症の詳しい説明はこちら

(http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k04/k04_22/k04_22.html)

RSウイルス感染症(和歌山県全体)



◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核 4名
 - 3類感染症：報告はありませんでした。
 - 4類感染症：E型肝炎 1名
 - 5類感染症：報告はありませんでした。

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	252
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	27
E型肝炎	1
A型肝炎	2
オウム病	1
つつが虫病	6
日本紅斑熱	19
レジオネラ症	7
アメーバ赤痢	2
急性脳炎	4
クロイツフェルト・ヤコブ病	2
後天性免疫不全症候群	4
梅毒	4
破傷風	2
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2
風疹	1
麻疹	2

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

感染性胃腸炎（和歌山市、新宮保健所管内）

注意報レベル

流行性耳下腺炎（海南、湯浅、御坊保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	18	-	-	-	1	-	-	2	-	1	6	1	5	1	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.36	-	-	-	0.02	-	-	0.04	-	0.02	0.12	0.02	0.10	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	55	9	8	20	9	5	3	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	1.77	0.29	0.26	0.65	0.29	0.16	0.10	-	0.03	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	29	-	-	-	1	-	2	7	2	4	4	4	4	-	1
	定当	0.94	-	-	-	0.03	-	0.06	0.23	0.06	0.13	0.13	0.13	0.13	-	0.03
感染性胃腸炎	報告	397	6	19	44	55	50	50	49	25	23	21	15	26	3	11
	定当	12.81	0.19	0.61	1.42	1.77	1.61	1.61	1.58	0.81	0.74	0.68	0.48	0.84	0.10	0.35
水痘	報告	60	1	6	5	9	17	13	2	4	1	1	-	1	-	-
	定当	1.94	0.03	0.19	0.16	0.29	0.55	0.42	0.06	0.13	0.03	0.03	-	0.03	-	-
手足口病	報告	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.06	-	-	0.03	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	7	-	-	-	-	2	1	2	1	-	1	-	-	-	-
	定当	0.23	-	-	-	-	0.06	0.03	0.06	0.03	-	0.03	-	-	-	-
突発性発疹	報告	14	1	9	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.45	0.03	0.29	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.06	-	-	-	0.03	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	66	-	1	2	5	7	12	10	9	7	7	2	3	-	1
	定当	2.13	-	0.03	0.06	0.16	0.23	0.39	0.32	0.29	0.23	0.23	0.06	0.10	-	0.03

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	1	2	9	6	-	-	-	-	-
	定当	0.07	0.67	1.5	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	16	-	19	5	-	11	4	-	-
	定当	1.78	-	4.75	1.25	-	5.5	1	-	-
咽頭結膜熱	報告	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	6	1	2	13	1	5	1	-	-
	定当	0.67	0.5	0.5	3.25	0.33	2.5	0.25	-	-
感染性胃腸炎	報告	143	21	55	27	30	11	49	58	3
	定当	15.89	10.5	13.75	6.75	10	5.5	12.25	29	3
水痘	報告	20	2	10	6	2	2	18	-	-
	定当	2.22	1	2.5	1.5	0.67	1	4.5	-	-
手足口病	報告	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	0.25	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.78	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告	4	-	4	1	2	-	2	1	-
	定当	0.44	-	1	0.25	0.67	-	0.5	0.5	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	定当	-	-	0.25	-	-	-	0.25	-	-
流行性耳下腺炎	報告	15	9	10	8	12	7	5	-	-
	定当	1.67	4.5	2.5	2	4	3.5	1.25	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	1	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.33	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	1	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	1	-	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

和歌山県感染症情報（WIDR）2010年第50号

発行日：平成22年12月24日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。